



「おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん」

南山幼稚園 10月の園だより

平成28年9月30日



小学校への憧れを育む

南山幼稚園長 明田川 輝美

本園は、港区が推進する「育ちと学びをつなぐ 小学校入学前教育カリキュラム」を基盤として、様々な教育活動に取り組んでいます。年長児が小学校への不安を感じることなく就学できるよう、幼児期から児童期への発達や学びの連続性を踏まえ、幼稚園・小学校教員が合同の研究を推進しています。互いの指導内容や方法を理解し合えるよう努めています。

前回の校内研修会では、小学校教員が園児になりきり、幼稚園教員が手遊びやリズム運動を指導し、幼児期の遊びと学びについて共有しました。これからも幼稚園・小学校教員が互いの指導を振り返り、改善や工夫を繰り返すことにより、幼稚園から小学校への滑らかな接続を図れるよう努めていきます。



園児になって手遊びを習う小学校教員

【5年生との交流プール体験 さくら組(年長児)】【小学校プール体験 ばら組(年中児)】

9月9日、さくら組園児が5年生とペアになり、小学校のプール体験を行いました。5年生に抱っこしてもらったり、おんぶしてもらったり、手を取って泳がせてもらったり、大きな小学校のプールで元気いっぱい水遊びを楽しんでいました。

年長児と5年生の交流の意図は、次年度、1年生と6年生として関わるので、今から親しみをもってもらうためです。小学生に親しみや憧れを抱き、「学校は楽しいところ」と希望をもって就学してきてほしいと願っています。

ばら組園児も小学校のプールでのびのびと水遊びを楽しみました。いつもの組み立て式の幼稚園プールと異なり、大きくて深いのに怖がることなくとても楽しそうに活動していました。



5年生におんぶをしてもらって大喜び！ さくら組



小学校のプールは大きいね！ ばら組園児



【小学校給食体験 さくら組(年長児)】

保護者の方が作るお弁当から、小学校の給食へと移行するにあたり、小学校の教室を使用し給食体験を実施しています。今年度は7回予定しています。小学校の栄養士が園児に給食の配膳の仕方、スプーンや箸の持ち方、片付け方等を指導しています。1年間かけて給食に慣れ、食事のマナーや時間内に食べ終わることを習慣付けることにより、小学校入学後の食育指導につなげていきたいと考えています。

ご家庭でも好き嫌なく何でも食べられるように声掛けをよろしく願いいたします。



【お月見集会 (全園児)】 9月15日

ゲストティーチャーをお招きし、十五夜にちなんだお話し会(読み聞かせ・パネルシアター・紙芝居)を行いました。

その後、さくら組園児は協力し合ってお月見団子づくりに挑戦しました。お昼にさくら組さんの心のこもったお団子を皆でいただきました。

とても美味しく、皆のほっぺもお月様のようにまあるくなりました。



【親子遠足 しながわ水族館 (全園児)】 9月16日

バスに乗って、親子でしながわ水族館に遠足に行きました。バスの中でもクイズや歌、手遊びをして盛り上がりました。水槽の中を気持ちよさそうに泳ぐ魚に見とれたり、触ったり、イルカショーを見たり、楽しいひと時を過ごすことができました。

お友達との交流や保護者同士の親睦も深めることができました。



＜今月の保育のねらい＞

◎3歳児 りんご組

○自分で作ったり、場所を選んだりしながら、好きな遊びを存分に楽しむ。

紙や箱などを使って自分が作ったものを手に持ったり、身に付けたりすることを楽しんだり、ウレタン積み木などを使って自分の場所を作ったりしながら好きな遊びを存分に楽しめるよう援助していきます。

○いろいろな木の実や葉、生き物などの秋の自然に親しみながら遊ぶ。

トンボや色付いた葉、ドングリなどの木の実などを見付けたり、集めたりして、秋の自然に触れていきます。自然物を使って遊ぶことを楽しんだり、秋を感じられるような歌を歌ったりしながら、秋の季節ならではの遊びを楽しみます。

○学級のみんで、かけっこや踊りなど身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

走ったり、踊ったりすることを繰り返しながら、のびのびと身体を動かす心地よさを味わえるようにします。そして、みんなで一緒に取り組む中で、さらに楽しいと思えるように援助しながら、運動会につなげていきます。

◎4歳児 ばら組

○戸外でいろいろな動きに挑戦したり、みんなと一緒に鬼遊びをしたりすることで身体を動かす楽しさを味わう。

運動会を通して、学級の友達と一緒に体を動かすことを楽しみます。伸び伸びと動く中で、自分の力を試したり自分なりの動きをしようとしたりする姿を支え、意欲につなげていきます。年長児の競技や演技、係の仕事に興味をもつ姿を大切に、来年への期待をもてるようにしていきます。

○遊びの中で思いやイメージを表し、必要となったものを作ったり作った物で遊んだりすることを楽しむ。

製作や構成遊びが充実できるように、遊びの場を工夫して使っていきます。また、遊びを楽しむために必要となったものを作り、イメージが広がることで活発に遊べるようにしていきます。

○学級に必要な仕事を友達と一緒に受け持ち、自分たちの生活を進めていこうとする。

昼食時に必要な仕事(やかんを運ぶ、机を運ぶ、拭く、挨拶する等)をすることが分かり、友達と一緒に喜んで取り組めるようにしていきます。そして、できたことで喜びを感じ、自信につなげてきます。

◎5歳児さくら組

○親子運動会に向けて取り組む中で、互いの考えや力を出し合い、みんなでやり遂げた満足感を味わう。

運動会への取り組みの中で、徐々に足が速くなることや、気持ちを合わせて表現する姿などを幼児に知らせ、自分の力を発揮するうれしさや、自信を感じることができるようしていきます。また、係の仕事や準備では、自分の役割を果たす姿や仲間と力を合せて最後までやりぬく姿が見られるように援助していきます。

○友達と互いの考えを出し合い、遊び方や目的を共通にして遊びを進めていく。

友達と一緒に遊ぶ中で、互いの考えていることに関心をもって関わりながら遊びを進め、イメージや目的が共通になり、遊びを進めていくことを楽しんでいけるようにしていきます。

○身近な秋の自然の変化に気付き、興味、関心をもって関わる。

身近な秋の虫や、草花、木の実などを見たり、関わったりすることで季節の移り変わりを知り、遊びに取り入れられるようにしていきます。また、幼児が感じた自然の不思議に共感しながら、自然とのかわりを楽しめるようにしていきます。

＜南山幼稚園と南山小学校 連携の生活のめあて＞

「ていねいに使おう」